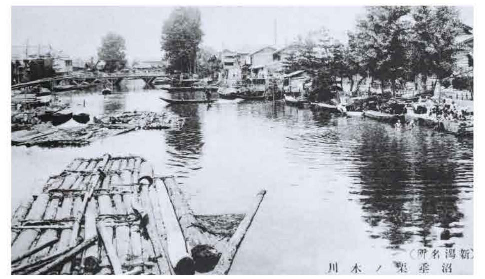
沼垂のまちなみ ④本町エリア
小路でめぐる 沼垂四ツ角界隈

栗ノ木川は**栗ノ木通・長嶺通**とも呼ばれ、川幅約40mもの**舟運の大動脈**で、沼垂の町中の堀は栗ノ木川に通じていました。


沼垂栗ノ木川
（新潟名所）

昔の栗ノ木川と沼垂大橋写真

現在の栗ノ木バイパス

沼垂大橋があった場所

栗ノ木川を挟む道筋**「東横町」と「西横町」を結ぶ「大橋」**は江戸後期までは栗ノ木川に架かる唯一の橋で、大変繁華でした。現在の万代町通と栗ノ木バイパスの交差点に当たります。

沼垂町の主な町名の変遷（※すべての町名は表示していません）

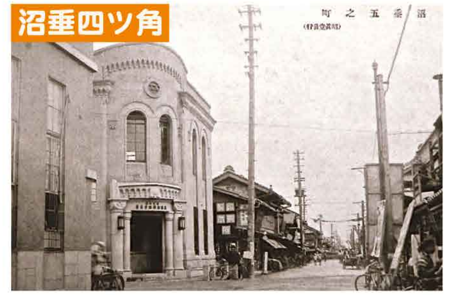
エリア／年代	栗ノ木川 上手・東側		栗ノ木川 下手・東側							栗ノ木川 下手・西側							
	蔵所	石町	本町							古町				古町			
貞享元（1684）	（蔵所）	石町一〜三丁目	本町一〜二丁目							古一ノ町	古二ノ町（助買町）	宮屋敷	西片原	古三ノ町	古四ノ町（猟師町）		
宝永7頃（1710）		上二ノ町〜上四ノ町	五ノ町〜六ノ町	七ノ町 文化年間（1804〜18）までに市街地が拡張								（移転後約50年間で侵食される） 延享年間（1744〜48）までに陸地が増え始め新地が生まれる 文化年間（1804〜18）までに市街地が拡張					
文政7（1824）				七ノ町	東片原町	西龍ケ島	東龍ケ島					西片原町		古新地	新地	稲荷町 古稲荷町	新地築留 稲荷門前 稲荷横門前 稲荷大川前町 など
明治初期以降	鏡ケ岡	上一ノ町〜上四ノ町	東横町 五ノ町 〜六ノ町		五軒町 東片原町					西横町 古一ノ町							
明治30（1897）								日吉町	芳原町								
昭和43（1968）	鏡が岡、沼垂東1、2丁目		沼垂東3〜5丁目			沼垂東4〜6丁目				沼垂西1丁目				沼垂西2丁目			沼垂西3丁目

『新潟歴史双書8 新潟の地名と歴史』、『新潟市合併市町村の歴史第3巻』参考

沼垂町では、**上二ノ町・西龍ケ島町・古一ノ町・古稲荷町など江戸時代にできた町の名**が、昭和43年（1968）の町名改正まで通称されていました。

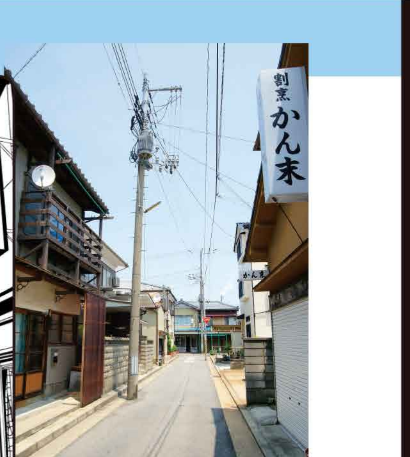
沼垂には各町が灯籠を出し練り歩き、四ツ角でぶつけあう祭りがあります。その灯籠には、昔の町名が書かれているんですよ〜。

沼垂四ツ角

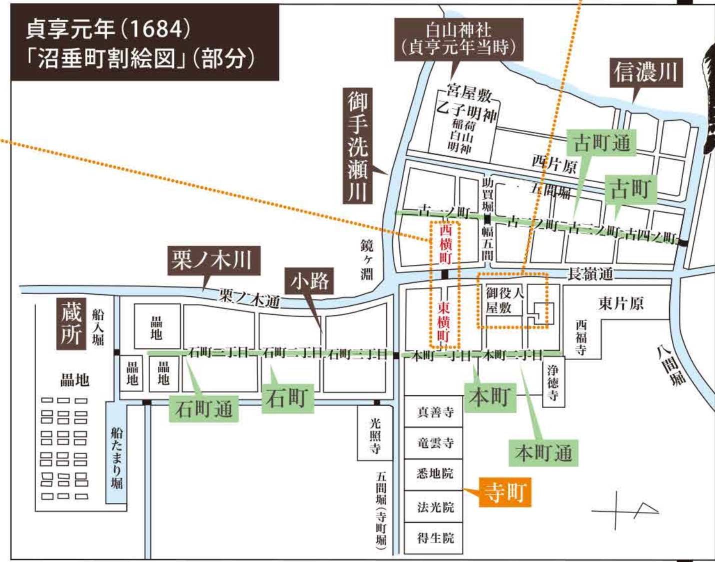


昔の沼垂四ツ角（上）と現在の沼垂四ツ角（下）

まつりばやし
割烹 かん末
御屋敷小路
おやしきこうじ
nouchi



⑪ **御屋敷小路（おやしきこうじ）**：江戸時代、この小路の下手に新発田藩の支配役所（御旅屋ともいう）があったことから、この名で呼ばれた。明治初めの絵図には元御旅屋小路と記されている。



貞享元年（1684）
「沼垂町割絵図」（部分）

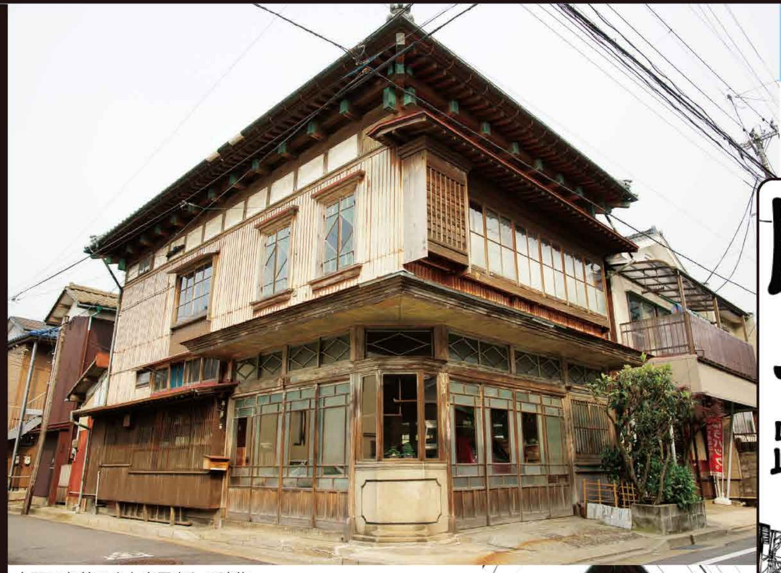
白山神社
（貞享元年当時）
信濃川
宮屋敷
乙子明神
稲荷白山明神
御手洗瀬川
古町通
西片原
五間堀
助買堀
古町
古一ノ町
古二ノ町
古三ノ町
古四ノ町
鏡ヶ淵
西横町
幅五間
長嶺通
栗ノ木川
栗ノ木通
小路
御役人屋敷
東片原
蔵所
船入堀
畠地
東横町
西福寺
八間堀
石町三丁目
石町二丁目
石町一丁目
本町一丁目
本町二丁目
浄徳寺
石町通
石町
本町
本町通
光照寺
真善寺
竜雲寺
悉地院
法光院
得生院
寺町
五間堀（寺町堀）
船たまり堀

見つけてください〜ニャ〜

孫助小路突き当たりの、沼垂保育園などの駐車場敷地（料亭「鶴善」の跡地）には小唄勝太郎の像があります。沼垂を代表する料亭「鶴善」の養女として育った勝太郎〈本名真野（旧姓佐藤）かつ〉は早くから唄の才能が認められ、沼垂尋常高等小学校を卒業後、昭和6年（1931）ビクターに専属歌手として入社しました。同8年（1933）「島の娘」で爆発的な人気をよび、次いで「東京音頭」「さくら音頭」などのヒット曲をだしました。勝太郎は日本調歌謡曲の一時代を築き、昭和46年（1971）紫綬褒章を受賞しました。

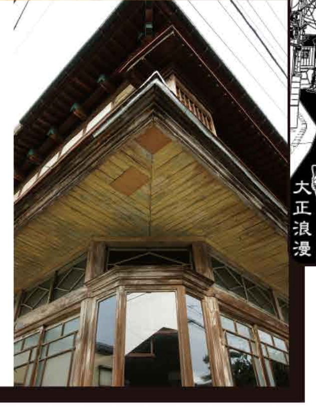
勝太郎♪
孫助小路
まごすけこうじ
路地のムコウに
nouchi

⑩ **孫助小路（まごすけこうじ）**：大正期の地図に孫助小路と記されている。この小路の近くに住んでいた人の名前に由来すると思われる。

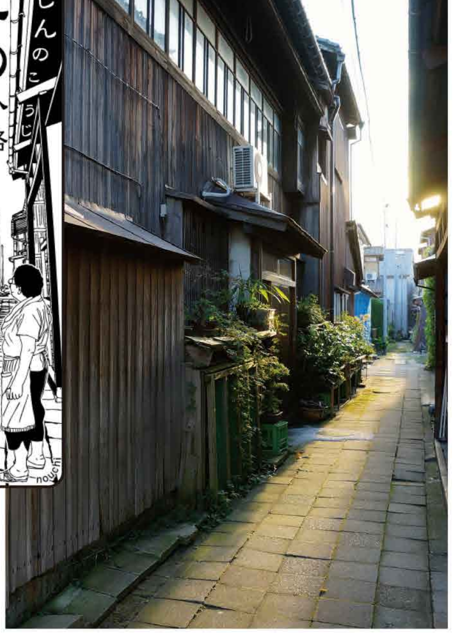


大正14年築のもと床屋さんの建物

かっこいい建物、きれいな花。小路に入ると思いがけない景色に出会えるよ。



見事な大輪
小甚の小路
こじんのこうじ
nouchi



⑫ **小甚の小路（こじんのこうじ）**：この小路の上手に小甚という料理屋が昭和初期まであったことから、この名が付いたと思われる。

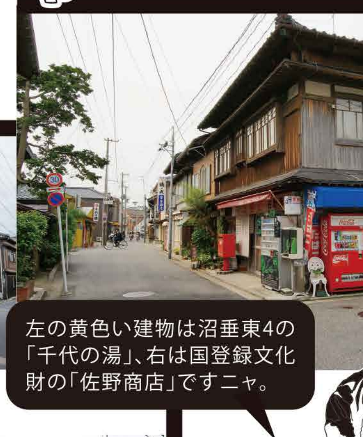
小路めぐりは近隣の方や通行する方の迷惑にならないよう節度をもってな。

⑬ **朗小路（ろうこうじ）**：明治初期の地図にはニケン小路とある。昭和初期に朗小路に改称された。

朗小路
ろうこうじ
大正浪漫
nouchi

静かにほほえむ
八平小路
はちべいこうじ

⑭ **八平小路（はちべいこうじ）**：明治初めの絵図には、小路の角に渡辺八平の屋敷が記されていることから、その名前が名の由来と思われる。



左の黄色い建物は沼垂東4の「千代の湯」、右は国登録文化財の「佐野商店」ですニャ。

Y字路登場。左は「浅平小路」（沼垂東4）

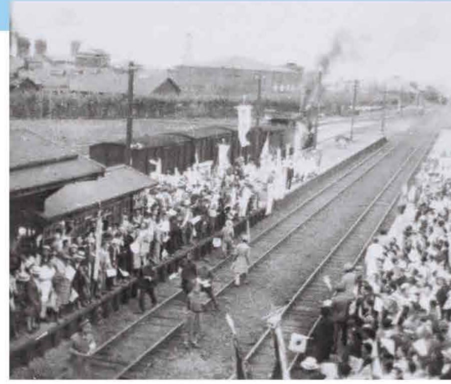
浅平小路
あさひらこうじ
奥にY字路
nouchi

⑮ **浅平小路（あさひらこうじ）**：昭和初期、この小路を設ける際、浄徳寺住職が土地を寄付したことから、住職の姓（浅平）が小路名の由来となったと思われる。

沼垂のまちなみ
⑤旧沼垂駅前界隈 西・東龍ケ島エリア

文政8年（1825）、沼垂町は栗ノ木川の東側の龍ケ島一帯を買い上げて造成を開始し、**西龍ケ島・東龍ケ島の2本の通り**と、**西龍ケ島堀・東龍ケ島堀の2本の堀**を作りました。明治30年（1897）11月には、この龍ケ島地内に北越鉄道（後の信越線）の**沼垂駅が現市域初の駅**として開業します。駅前（現沼垂東6）は**芳原町（吉原町）、日吉町**と通称される新開地となり、周辺には**石油精製や製紙会社などの大工場が進出**しました。

大正3年（1914）に沼垂町と新潟市が合併、昭和33年（1958）沼垂駅は旅客営業をやめ貨物駅となり、平成22年（2010）に廃止されました。周辺には駅前当時の名残が残されています。

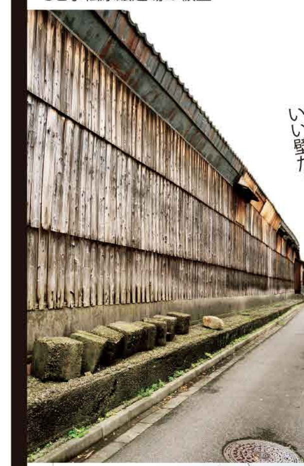


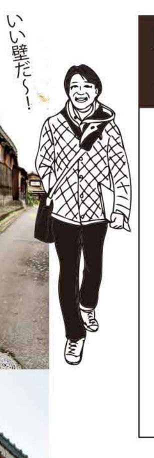
かつての沼垂駅

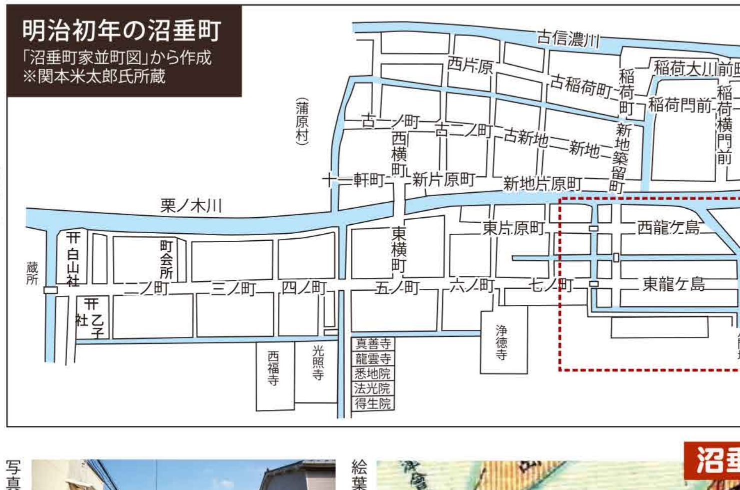
駅前・日吉町

いい雰囲気のスポットがあるニャ。ついて来てニャー。

もと小松原醸造場の板壁







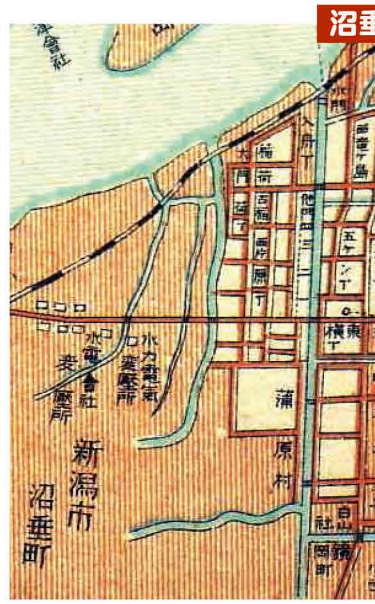
明治初年の沼垂町
「沼垂町家並町図」から作成
※関本米太郎氏所蔵

古信濃川
西片原
古稲荷町
稲荷町
稲荷大川前町
稲荷門前
稲荷横門前
稲荷社
信濃川
（蒲原村）
古一ノ町
古二ノ町
古新地
新地
新地築留町
西横町
十一軒町
新片原町
新地片原町
稲荷川前町
栗ノ木川
東片原町
西龍ケ島
東龍ケ島
東横町
白山社
町会所
蔵所
二ノ町
三ノ町
四ノ町
五ノ町
六ノ町
七ノ町
社 乙子
浄徳寺
西福寺
光照寺
真善寺
龍雲寺
悉地院
法光院
得生院
八間堀

素敵な蔵（沼垂東5）

沼垂駅
三原左官屋
長井米店
小沢貨本店
長谷川下駄屋
現在地

写真上から、かつての駅前通り、周辺住民の方が作成したポスター、廃線路


沼垂駅
沼垂停車場
鶴善
新潟市
沼垂町
蒲原村
変電所
小学

絵葉書　新沼合併新潟市全図より（部分）※大正3年の合併後の図